

七夕 浴衣着付け教室

浴衣着付け体験を通して日本の伝統文化に触れる

外国語学部 中国語学科4年

橋口 京佳
小林 琉夏



七夕飾りの前での集合写真

開催のきっかけ

浴衣着付け教室の開催の案が出たのは2年前の夏でした。当時「日本の伝統文化を知る」というテーマで折り紙教室を開催した後だったため、同じ日本の文化につながる浴衣着付け教室を提案しました。2024年度から学生会部会メンバーも増え、新体制一発目のイベントとして開催することになりました。みなとみらいキャンパスの1階には七夕の時期になると笹の葉に短冊が飾られるので浴衣と合わせて日本の七夕文化を体験してもらおう機会にしたいと考えました。

当日の様子

今回の浴衣着付け教室はみなとみらいキャンパス5階中小ホールにて20人程度で開催し、浴衣の着付けの後、七夕ということで短冊の飾り付けをしました。特に今回は留学生にも参加していただいたため日本の文



七夕飾りを楽しむ様子



笹に短冊を飾っている写真



着付けをしている様子



着るために今回の教室に参加した」師の方々は説明やアドバイスを加えながら着付けを指導してくれましたため、日本人も留学生も浴衣を着てみようと思える教室になったと思います。



浴衣を選ぶ様子

化を感じていただけたのではないかと思います。着付け体験では特に帯を結ぶ工程に苦戦していました。あちらこちらで講師の方やスタッフを呼ぶ声が聞こえており、講師の方々がせわしなく帯を巻く手伝いをしてくれました。参加した留学生からは「お祭りで浴衣を」との声もあり、講



着付け直後の記念写真

感想

◆ 今回念願だった浴衣着付け体験を開催できたこと、参加者の半数が留学生だったことなど学生会メンバーとして大変うれしく思います。神奈川大学の事務や保健室で働かれている方を講師としてお迎えし、サポートとして人文学会事務の方々に協力いただき、浴衣着付け体験を開催することができました。参加者の中には浴衣を着たことがない人もたくさんいたため、今回の教室が浴衣に興味を持つきっかけとなることを願います。また七夕ということで国際センターの短冊飾りに参加しました。浴衣を着て短冊を飾ることで、参加者はより日本の伝統文化を感じることができたのではないのでしょうか。それぞれが願いを書いた短冊を飾ってそれが叶うことを期待しています。

神奈川大学人文学会学生会は学生による自主的な活動を行う団体です。ご興味がある方は是非ご参加ください。

神奈川大学 人文学会 学生会部会
<http://human.kanagawa-u.ac.jp/gakkai/student/index.html>
jinbun-staff@kanagawa-u.ac.jp



友人5人で楽しんでいる様子



参加者同士の交流



講師の先生方との記念写真